土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　青ヶ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.1	調査位置	No.0　CL　堰堤中心部			北緯	34° 34’ 55.2470″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	令和2年 1月17日～ 令和2年 1月20日	東経	132° 16’ 11.3990″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 300.27m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	5° 鉛直 水平 0° 90°	使用機種	試錐機	東邦製　DO-DR型		
総削孔長	10.00m								エンジン	ヤンマー(株)製 TF-70V-E型	ポンプ	東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1				シルト混じり砂		暗褐	rd1		0.5mまでは表層土。 渓床の最上部に分布する非常に緩い堆積物。 中砂を主体とし含水が全体的に高い。 GL-1.0m付近にφ50mmの礫を混入する。	1/18 0.74 1/21 1.74	0	1.00	0			0/600		600					1/17
2	298.27	2.00										1.60											
3				玉石混じり礫		乳白～褐	rd4		硬質で未風化の玉石（花崗岩礫）を主体とする。 GL-2.2～3.15m, 3.7～4.2m, 4.55～5.0m, 5.4～5.75m間, 玉石。 玉石間には、花崗岩組織を有する礫混じり砂を挟む。		35	2.15	50			50/50		50	50				
4												2.20											
5	294.52	5.75										3.15	10	8	17	35/300							
6				礫混じり粗砂		暗褐			渓床堆積物。上部層より玉石の含有量が少ない。 GL-6.0m, 6.5m付近に径50mmの礫を含む		24	3.45											
7	293.52	6.75		風化花崗岩		赤褐灰			風化し，GL-7.6m付近まで全体的に赤みを帯び，コアの表面がザラザラしている。 低角度亀裂が多く発達する。CL級岩盤 GL-7.6m以深は岩片がやや新鮮である。			4.25	3	9	12	24/300							
8	292.17	8.10										4.55											
9				花崗岩		淡褐灰			短棒状コアで採取される。 亀裂間隔は5～10cm程度。 岩片は概ね未風化で硬質であるが，亀裂間はやや風化がみられる。 CM級岩盤。		50以上	5.15	6	9	35	50/250		250					
10	290.27	10.00										5.40											1/18
11												6.15	6	6	11	23/300							
12											23	6.45											
13											50以上	7.00	貫入不能			50/0		0					
14											50以上	8.00	貫入不能			50/0		0					
15											50以上	9.00	貫入不能			50/0		0					
											50以上	10.00	貫入不能			50/0		0					1/20